

官報

號外 昭和九年十二月八日

第六十六回貴族院議事速記録第七號

帝國議會

昭和九年十二月七日(金曜日)午前十時十九分開議

議事日程 第七號

昭和九年十二月七日

午前十時開議

第一 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第二 青森縣川内町ニ護岸工事施行ノ請願

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

昨六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

都市計畫法中改正法律案

風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表(第三回報告)

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、山崎農林大臣

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年十二月六日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

第一條 政府ハ市町村ニシテ其ノ區域内ニ於テ昭和九年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ且冬季ニ於ケル應急土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シ交付セシムル爲關係道府縣ニ對シ昭和十年三月三十一日迄總額五十萬石ヲ限リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前項ノ市町村ニ其ノ米穀ヲ交付シ當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス

前項ノ交付及貸付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 市町村ハ交付ヲ受ケタル米穀ト同數量ノ米穀ヲ所有シ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ之ヲ貯藏スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外交付ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ其ノ全額ニ達セシムルコトヲ要ス

第三條 市町村ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ前條第一項ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

市町村ハ前項ノ規定ニ依ル處分其ノ他ノ事由ニ因リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ニ不足シタルトキハ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外次ノ收穫季節ニ於テ其ノ不足數量ヲ補充スルコトヲ要ス

第四條 市町村特別ノ事由アル場合ニ於テ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ米穀ノ貯藏ニ代ヘ米穀以外ノ穀物ヲ貯藏スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條第二項及前條ノ規定ヲ準用ス

第五條 政府ハ第一條ノ規定ニ違反シタル道府縣ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第六條 本法ニ依ル米穀ノ交付ニ關スル政府ノ一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣山崎達之輔君演壇ニ登リ)

○國務大臣(山崎達之輔君) 只今上程セラレマシタル法律案提案ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、本年ノ凶作ノ實情ニ鑑ミマシテ、東北六縣其他特殊ノ地方ニ對シマシテハ、豫算上ノ一般應急土木事業ノ外特ニ米ノ供給ニ付キマシテ、適切ナル方策ヲ講ズルコトガ必要ト認メマス、是等ノ地方ニ於ケル米作ヲ爲ス市町村ニシテ、其區域内ノ本年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ、且ツ冬季ニ於ケル應急土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シマシテ、臨時ノ施設トシテ關係縣等ヲ通ジマシテ、五十萬石ノ範圍内ニ於テ政府所有米穀ヲ交付スルコトト致シマシテ、之ニ依リマシテ現下ノ窮狀緩和ニ資シマスルト共ニ、將來是等ノ市町村ニ備荒貯蓄ノ施設ヲ整備セシメマシテ、以テ應急、恆久兩方面ノ效果ヲ收メムガ爲ニ本法案ヲ提出イタシタ次第デゴザイマス、御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシタ凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案ハ、重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其委員ノ數ヲ十五名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

(角倉書記官朗讀)

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案特別委員

公爵慶司 信輔君 公爵島津 忠承君 伯爵酒井 忠正君 子爵片桐 貞央君 子爵織田 信恒君 子爵綾小路 護君 松村眞一郎君 桑山 鐵男君 男爵伊藤 文吉君 男爵足立 豐君 男爵杉溪 由吉君 赤池 濃君 石川 三郎君 油井 德藏君 岩崎 清行君

○議長(公爵近衛文麿君) 議事ノ都合上、是ニテ午後四時マデ休憩イタシマス、更ニ休憩ヲ繼續スル必要ノアル場合ニハ、院

官報號外

昭和九年十二月八日

貴族院議事速記録第七號

議長ノ報告

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

第一讀會

三七

明治三十五年三月三十日
第三種郵便物認可

内ニ揭示ヲ致シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

午前十時二十四分休憩

午後四時十七分開議

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

本日凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君

副委員長 男爵伊藤 文吉君

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案可決報告書

請願委員會特別報告第三號

○議長(公爵近衛文麿君) 休憩前ニ引續キ

會議ヲ開キマス、委員長ヨリ報告ガアリマシタ凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ、此際議事日程ニ追加シテ議事ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 凶作地ニ對スル

政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長酒井伯爵

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和九年十二月七日

委員長 伯爵酒井 忠正

貴族院議長近衛文麿殿

(伯爵酒井忠正君演壇ニ登ル)

○伯爵酒井忠正君 只今議題ニ上ボリマシ

タ凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案、此特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、法律案ノ要旨ハ今朝政府當局ヨリ御説明ノアリマシタコトデアリマスルカラシテ此際之ヲ省キマシテ、經過竝ニ結果ダケヲ御報告申シマス、今朝十一時ニ特別委員會ヲ開キマシテ、最初ニ委員長、副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續キ會議ヲ開イタノデアリマス、初ニ政府當局ノ此法律案ニ對スル説明ヲ求メマシテ、續イテ質問ニ移ッタノデアリマス、質問ノ二三ヲ申上ゲテ見マスルガ、第一ハ此法案ニ依レバ、米作ヲ爲ス農村ヲ條件トシテ居ルカラシテ、養蠶地帯ノ如キ農村、窮迫シテ居ル農村ニハ効力ガ及バナシ、斯ウ云フヤウナ農村ニ對シテハ政府ハドウ云フ處置ヲ執ルノデアアルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シマシテハ、此法案ハ備荒貯蓄ノ制度ト結付イテ居ルガ故ニ、米作ヲ爲ス農村ヲ條件トシテ居ル譯デアリマスルガ、養蠶地帯ニハ又別途ノ方法ニ依ッテ出來得ルダケノ手段ヲ執ル、即チ現在ノ米穀統制法ノ規定ニ依リマスル貸付、拂下、政府ノ持米ノ格安ノ供給ナドニ依ッテ是等ノ窮迫農村ヲ救ヒ、又此度ノ豫算ノ上ニモ或程度此計畫ヲ致シテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、又第二ノ質問ハ此法文上貸付又ハ交付ト云フ字ガアルガ、其標準ハ何デ定メルノデアアルカト云フ質問デアリマス、是ハ貸付ケマ

シテモ返還ノ見込ガアルトスレバ全部ヲ貸付ニスル、交付ハ例外ノ場合デアッテ、供給イタシテモ返還ノ見込ナイヤウナ困窮者ニハ只デ之ヲ與ヘル、其標準ハ市町村デ以テ定メルコトニナッテ居ルト云フ答辯デアリマス、又質問ノ中ニ、交付ノ米穀量ヲ此法文ノ中ニ五十萬石トシテアルガ、其根據ハ何デアアルカト云フコトデアリマス、之ニ對シマシテハ、東北六縣ノ五割以上ノ凶作市町村、又土木事業施行困難デアアル所ノ町村ヲ調査イタシテ、救済ヲ必要トスルモノガ七十五萬人ト計算シテ、是等ノ人ニ四箇月分ノ食糧ヲ交付シ又ハ貸付スルト、其數量ガ約三十萬石ヲ要スルノデアアル、是ハ東北六縣デアリマスガ、其他ノ地方ニ更ニ十萬石ヲ充テ、ソレノ外ニ餘裕ヲ取ッテ更ニ十萬石ヲ加ヘテ、五十萬石ト云フ計算ヲシタノデアアルト云フ答辯デアリマス、又一ツノ質問ハ、米穀特別會計法ノ目的ト云フモノハ米ノ數量、市價ノ調節ノ爲ニスル買入、賣入ノ數量、無償デヤルコトハ認メテ居ラナイノデアアル、所ガ此法律ニ依ルト無償デ給與スルコトニナルノデアアルカラシテ、斯ウ云フコトヲ色ミスル場合ニハ、遂ニハ米穀統制法ノ基礎ヲ弱クスルモノデハナイカト云フヤウナ御質問ガアッタノデアリマス、之ニ對シマシテハ政府ハ、此法案ハ米穀供給ニ對シマシテハ政府ハ、無償交付スルト云フケレドモ、交付ヲ受ケタ市町村ハ是ト同ジダケノ數量ノ米穀ヲ所有シテ居ル義務ヲ負ッテ、平常ニハ之ヲ蓄ヘ、凶作ニ際シマシテハ之ヲ以テ其需要ニ充テルモノデアリマスカラシテ、米穀統制法ノ需給調節ノ目的ニ自然合致シテ居ル、從テ本法ノ實行ニ依ッテ政府米ヲ交付スルノハ、統制法ノ運

用ニ便スルコトナルベキデアアルカラシテ、米穀統制法ノ效力ヲ甚シク減殺スルコトハナイト云フ答辯デアリマシタ、其他郷倉トノ關係、或ハ米穀特別會計法ノ整理ニ關スルコトデアアルト云フヤウナ質問ガアリマシテ、質問ヲ終ッテ討論ニ入りマシタ、本案ニ賛成スベシトノ説ガゴザイマシテ、直ニ採決ニ入りマシタ結果、全會一致ヲ以テ此法案ヲ可決イタシタ次第デアリマス、以上御報告申上ゲマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレバ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵池田政時君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵今城定政君 賛成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 第二讀會、全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵池田政時君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵今城定政君 賛成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議

ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認

メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 第三讀會、全部

第二讀會ノ決議通りテ御異議ハゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認

メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二、青森

意見書案

青森縣川内町ニ護岸工事施行ノ件

青森縣下北郡川内町長中村能壽呈出
右ノ請願ハ青森縣下北郡川内町ニ於ケル
沿岸ハ波浪ノタメ逐年破壊ノ度ヲ加ヘ爲
ニ今ヤ同町民ノ不安其ノ極ニ達スト雖凶
作相次ク同町ニテハ到底之方防禦施設ヲ爲
スノ資力ナキニ依リ速ニ同護岸工事ヲ施
工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願
意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣岡田啓介殿

○議長(公爵近衛文麿君) 本請願ハ委員長

ノ報告通り採擇スルコトニ御異議ハゴザイ

マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認

メマス、是ヨリ七時半マデ休憩ヲ致シマス

午後四時二十七分休憩

午後八時二十一分開議

○議長(公爵近衛文麿君) 御報告ヲ致シマ

ス、休憩中内閣總理大臣ヨリ、十二月九日
迄二日間帝國議會會期ノ延長ヲ命セラルル
旨ノ詔書ヲ傳達セラレマシタ、是ヨリ報告
ヲ致サセマス

〔角倉書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案
ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ
通知セリ

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付

ニ關スル法律案

本日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル
青森縣川内町ニ護岸工事施行ノ請願ハ意見
書ヲ附シ直ニ之ヲ政府ニ送付セリ

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和九年度歳入歳出總豫算追加案(第一
號)

昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加

案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件(追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件(追第二號)

昭和九年法律第五號中改正法律案

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第四號

○議長(公爵近衛文麿君) 休憩前ニ引續キ

會議ヲ開キマス、大藏大臣ヨリ發言ヲ求メ

ラレマシタカラ此際許可イタシマス、高橋

大藏大臣

〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 諸君、茲ニ昭和

九年度追加豫算ノ大要ヲ説明イタシマスル

コトハ、私ノ最モ光榮トスル所デゴザイマ

ス、本年ハ不幸ニモ國內各地ニ災害ガ相踵

イデ起リマシテ、北陸地方ノ水害、九州及

四國地方ノ旱害、東北地方ノ冷害、朝鮮ニ

於ケル風水害等、何レモ地方農村ニ多大ノ

損害ヲ與ヘマシタノミナラズ、關西地方ヲ

襲ヒマシタ風水害ニ因ル都市農村ノ被害ハ

頗ル激甚ヲ極メ、災害ハ殆ド全國ニ及ッ

感ガアリマシテ、罹災地方民ノ疲弊困憊ハ

實ニ見ルニ忍ビザルモノガアリマス、之ニ

加フルニ藪價ノ下落等ニ因ル養蠶地方ノ窮

狀モ亦甚シキモノガアリマス、政府ハ

是等災害地等ノ復舊救済、其他ノ對策ニ要

スル諸經費ニ付キ提案スルコトヲ致シタ次

第デアリマス、而シテ是等災害等ノ對策ノ

爲ニ要スル臨時經費ノ總額ハ、一般會計ニ

於テハ二億千六百餘萬圓デアリマシテ、其

大部分ハ昭和九年度及同十年度ニ於テ之ヲ

支出シ、災害復舊ノ長期ニ亙ルモノ等ニ付

テハ、昭和十一年度以降ニ於テモ繼續支出

スル計畫デアリマス、即チ今回提出イタシ

マシタ昭和九年度追加豫算ニ於テハ七千六

十餘萬圓ヲ計上シマシタガ、更ニ昭和十年

度ニ於テハ六千六百十萬餘圓ヲ、昭和十一

年度以降ニ於テハ七千九百二十餘萬圓ヲ支

出セムトスルモノデアリマス、今右ノ臨時

經費ノ總額ニ付キ大要ヲ説明イタシマスレ

バ、内務省所管ニ於ケル災害土木費補助三

千七百三十餘萬圓、治水事業費二千五百十

餘萬圓、大阪港復興修築費補助千九百十餘

萬圓、農村其他應急土木事業費二千七百十

餘萬圓、郷倉獎勵費六百十餘萬圓、災害土

木助成費其他千八百七十餘萬圓、合計一億

二千七百七十餘萬圓、農林省所管ニ於ケル風

水害等ノ復舊諸施設費三千七百餘萬圓、災

害地方諸施設費二千六百十餘萬圓、養蠶地

方諸施設費九百六十餘萬圓、合計六千八百

三十餘萬圓、文部省所管ニ於ケル風水害罹災

市町村立小學校復舊建築費借入金元利補助

八百餘萬圓、災害地方其他市町村立尋常小

學校費臨時補助三百萬圓、災害地方其他學

齡兒童就學臨時獎勵費九十餘萬圓、颱風對

應並寒冷觀測施設費其他四百三十餘萬圓、

合計千六百五十餘萬圓ガ其主ナルモノデア

リマシテ、此他ニ大藏省、陸軍省、海軍省、司

法省、商工省及逓信省所管ニ於テ合計九百

四十餘萬圓ガアリマスガ、右ハ主トシテ是

等各省ニ於ケル應含其他ノ風水害復舊費等

デアリマス、尙ホ特別會計ニ於テモ災害地

方ノ救済等ニ寄與スルコト、風水害ニ因ル應

急及復舊諸施設等ヲ行フ爲メ通信事業特別

會計資本勘定ニ於テ三百餘萬圓、同ク業務

勘定ニ於テ四百四十餘萬圓、帝國鐵道特別會

計資本勘定ニ於テ四百六十餘萬圓、朝鮮總

督府特別會計ニ於テ二十餘萬圓ヲ九年度

以降ニ於テ支出スル豫定デアリマス、次ニ

今回提出イタシマシタ昭和九年度追加豫算

ニ付テ説明イタシマス、昭和九年度一般會

計追加豫算ハ、主トシテ前述ノ災害對策ニ

關スル臨時經費中昭和九年度ニ支出ヲ要ス

ル分デアリマシテ、其金額ハ内務省所管三

千八百九十餘萬圓、農林省所管二千四百餘

萬圓、文部省所管二百餘萬圓、及ビ大藏省、

陸軍省、海軍省、司法省、商工省並逓信省

所管ニ於テ合計五百六十餘萬圓デアリマシテ、

之ガ總計ハ七千六百十餘萬圓デアリマス、右

ノ災害關係經費ノ外本追加豫算ニハ外務省

所管ニ於テ日蘭通商會議委員派遣費十八萬

七千餘圓、大藏省所管ニ於テ對滿事務新設

ニ關スル經費六萬餘圓、是等ヲ計上イタシマ

シタガ右ハ何レモ緊急已ムヲ得ザル經費デ

アリマス、而シテ之ガ財源ハ歳出ニ伴フ普
通歳入八百萬餘圓ヲ除キ、他ハ全部公債財
源ニ依リ豫定デアリマス、次ニ特別會計ニ
於キマシテモ、災害應急及復舊施設費ニ關
シ、通信事業特別會計資本勘定ニ於テ七十
三萬餘圓、同ク業務勘定ニ於テ百四十餘萬
圓、帝國鐵道特別會計資本勘定ニ於テ三百
十萬圓、朝鮮總督府特別會計ニ於テ四百三
十餘萬圓ヲソレノ計上イタシマシタ、而シ
テ其財源ハ通信事業ニ於テハ本年度歳入金
ノ増加、帝國鐵道ニ於テハ前年度持越資
金、朝鮮總督府ニ於テハ主トシテ前年度剩
餘金繰入ニ依リコトト致シマシタ、尙ホ此
際一般竝ニ各特別會計ヲ通ジテ、繼續費又
ハ豫算外國庫ノ負擔ニ屬スル契約ノ御協賛
ヲ經ルコトヲ要スルモノハ、ソレノ其提
案ヲ致シマシタ 以上政府提出ノ豫算ニ付
テハ衆議院ニ於テ全部政府提出案ノ通り可
決セラレタ次第デアリマス、災害地方等ノ
復舊其他ノ對策ニ付テハ、以上ノ如ク豫算
ニ計上イタシマスル國費ノ支出ノ外、罹災
者ニ對スル租稅ノ減免竝ニ徵收猶豫ノ途ヲ
開クコトトシ、別途法律案ヲ提出イタシマ
シタノミナラズ、預金部ヨリモ出來得ル限
リ多額ノ低利資金ヲ供給シ、其復舊復興ヲ援
助スル方針デアリマス、即チ罹災各地ニ於ケ
ル小學校其他ノ公共施設ノ復舊事業費、罹
災者ノ復舊資金及旱害冷害地方等ニ於ケル
農村其他應急土木事業費等ニ付テハ、國庫
ノ助成ニ依リ外資金ノ借入ヲ必要トスル
モノニ對シ、其負擔ノ輕減ヲ圖ル爲メ預金
部資金ヲ融通スル計畫デアリマス、尙ホ地
方公共團體、各種組合及罹災者ノ災害復舊
ニ關スル事業等ニシテ、國庫ノ助成ナキモ
ノニ對シテモ同様、預金部資金ヲ融通シテ
之ガ復舊ヲ援助スル計畫デアリマスガ、是
等融通豫定ノ金額ハ總額約二億圓デアリマ
シテ、内昭和九年度分ハ九千六百餘萬圓デ
アリマス、罹災地ニ於ケル中小商工業復興

ノ爲ニモ、政府ニ於テ特別ノ施設ヲ爲スノ
必要アリト認メ、是等地方ニ於ケル中小商
工業者ニ對シテ金融機關ガ貸付ヲ爲シ、之
ニ依リ損失ヲ受ケタルニ對シ道府縣又ハ市
ガ損失補償ヲ爲シタルトキハ、國庫ハ道府
縣又ハ市ノ區域内ニ於ケル貸付金總額ノ十
分ノ二ヲ限度トシ、總額七百萬圓ヲ限リ道
府縣又ハ市ニ對シ其補償額ノ二分ノ一以內
ノ金額ヲ補給スルコトヲ得ル制度ヲ設ケム
トスルノデアリマシテ、之ニ依リ銀行等ノ
罹災地中小商工業者ノ貸付ニ付キ資金融通
ノ圓滑迅速ヲ圖リ、且ツ貸付利率ヲ低下セ
シムルコトヲ得ルモノト考ヘマス、右補償
制度ニ依ジテ金融機關ノ貸出シ得ル金額ハ
三千五百餘萬圓トナルノデアリマシテ、本
制度ハ銀行等ノ自己資金ニ依リ貸付ニモ適
用セララルノデアリマスガ、預金部トシテ
特ニ條件ヲ緩和シタル資金ヲ供給スルコト
トシ、差當リ千五百萬圓ノ融通ヲ決定イタ
シマシタ、以上ノ如ク政府ハ今回ノ豫算案
ニ基ク國費支出竝ニ預金部資金ノ融通等ニ
依リ、是等罹災地ノ復舊復興竝ニ救済ニ關
シ最善ヲ盡ス考デアリマスガ、國民各自ニ
於テモ此際出來得ル限リ將來ニ於ケル災禍
ヲ未然ニ防止スルノ計畫ヲ立ツルト共ニ、
避クベカラザル天災ノ場合ニ於テモ成ルベ
ク其損害ヲ少カラシムルノ用意ヲ怠ラズ、
以テ今回ノ災害ガ救ヘマシタ各種ノ經驗ヲ
永ク善用シ、禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ實ヲ舉
グルノ必要ガアルト信ズルノデアリマス、
終リニ臨ミ本豫算案ニ對シ何卒協賛ヲ與ヘ
ラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 津村重舍君ヨリ
外務大臣ニ對シテ質疑ノ通告ガゴザイマシ
タガ、外務大臣ハ今日出席セラレマセヌ、
依テ右ノ質疑ハ明日外務大臣出席ノ上ニテ
之ヲ許シタイト存ジマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本日衆議院ヨリ
送付セラレマシタ昭和九年法律第五號中改
正法律案ノ第一讀會ヲ、此際日程ニ追加シ
テ議事ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌ
カ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 昭和九年法律第
五號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會、高橋大藏大臣

昭和九年法律第五號中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年十二月七日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

昭和九年法律第五號中改正法律案
昭和九年法律第五號中左ノ通改正ス
第一條中「六億六千九百九十萬圓」ヲ「六億七
千六百十萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)
昭和九年法律第五號ハ昭和九年度一般會
計歳出ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關ス
ル法律ナリ

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)
○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ
マシタ昭和九年法律第五號中改正法律案、
提出ノ理由ヲ説明イタシマス、竝ニ第六
十五回帝國議會ニ於テ、昭和九年度一般會
計歳出ノ財源ニ充ツル爲メ、公債ヲ發行ス
ルコトヲ得ル法律ノ成立ヲ見タノデアリ
マスガ、別途提出イタシマシタ昭和九年度
歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費
ノ財源トシテ、普通歳入八百八萬餘圓ノ外
約六千九百九十餘萬圓ハ、今日ノ場合之ヲ

公債ニ依リ外アリマセヌ、而シテ此金額
ノ内六十九萬五千圓ハ、既存ノ道路公債法
ニ依リ公債ヲ發行スルコトトナリマシタノ
デ、差引約六千九百二十萬圓ハ新タニ起債
權ヲ得ルノ必要ガアリマス、之ガ爲メ昭和
九年法律第五號中ノ公債發行限度ヲ擴張ス
ルコトヲ要シマスノデ、本案ヲ提出シタ次
第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラ
ムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレ
バ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イ
タサセマス
(近藤書記官朗讀)
昭和九年法律第五號中改正法律案特別委
員
侯爵佐竹 義春君 伯爵後藤 一藏君
子爵梅園 篤彦君 男爵長 基連君
各務 鎌吉君 小倉 正恒君
武井覺太郎君 大西虎之介君
上野喜左衛門君
○議長(公爵近衛文麿君) 明日ハ午後三時
ヨリ開會イタシマス、日程ハ決定次第本院
彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニ
テ散會イタシマス
午後八時四十一分散會

貴族院議事速記第二號正誤

頁	段	行	誤	正
八二	五	明倫	榮倫	
八二	五	要道ニ緊切	幼童ニ近切	
八二	五	拜服	佩服	